

豊かな長寿社会を実現するために

いたわり

No.53

発行 2019.3



一般社団法人 茨城県福祉サービス振興会情報紙

[発行人] 鈴木一良 [編集・発行所] (一社) 茨城県福祉サービス振興会

[編集委員] 小室博俊、安藤真理子、柳下文江、菊池巧

〒310-0851 茨城県水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館5階

TEL.029-241-6939 FAX.029-241-6799

ボットの普及啓発の推進を図ることを目的に実施しました。

茨城県福祉サービス振興会では、厚生労働省の委託を受けたテクノエイド協会と連携し「福祉用具・介護口ボット実用化支援事業」の一環として、介護現場で介護口ボットの適切かつ効果的な導入と利活用を促進するため、「介護口ボットフォーラム」を開催しました。開催にあたり、福祉用具に係る地域の拠点である茨城県福祉サービス振興会の介護実習・普及センターとして、地域の介護現場に介護口ボットの普及啓発の推進を図ることを目的に実施しました。

開催日時 平成30年12月21日(金)
10時～16時30分

会場 つくば国際会議場 2F

【シンポジウム】 13時～16時

中会議室 参加費 無料

◆行政説明 (厚生労働省 茨城県)

◆活動報告

①「介護口ボットを活用した介護技術開発

支援モデル事業(移動支援・屋外)

演者 兵庫県福祉のまちづくり研究所
作業療法士 福元 正伸氏

②「介護口ボットを活用した介護技術開発支
援モデル事業(認知症の見守り支援)

演者 筑波学院大学名誉教授

浜田 利満氏

③「介護口ボットのニーズ・シーズ連携協
調協議会全国設置・運営業務」

演者 一般社団法人 日本作業療法士協会
プロジェクトコーディネーター
ダーラ 小林 豊氏

④「わあ 立てた」「また、歩けた」H
AL®腰タイプ自立支援用

演者 医療法人社団みなみつくば会 事業
野口 兼慎氏

じている。
上がったようであった。
より、幅広く関心を持つていただけ、知名度が
上がったようであった。
ただ、結果として来場者が十分でなかった為、
今後はもっと広報に力をいれる必要があると感

問い合わせ先
(一社) 茨城県福祉サービス振興会
担当者まで

電話 029(244)44255
FAX 029(244)44633
<http://ibaraki-shinkoukai.jp>

平成30年度 福祉用具・介護口ボット実用化支援事業 「介護口ボットフォーラム」を開催

平成31年度
福祉用具専門相談員指定講習会
開催のお知らせ

【介護口ボット展示・体験会】 10時～16時30分

◆介護口ボット30機種の展示・体験会をメー
カーの協力を得て実施。

排泄支援4、移動・移乗支援8、見守り
支援4、入浴支援2、「ミニユニークーショ
ン8、リハビリ支援2、服薬支援1、寝
返り支援1

参加者
75名

厚労省・茨城県ではシンポジウムにおいて、
介護現場等での最新の介護口ボット開発・普及・
活用させるための取り組み状況の説明をおこな
い、介護口ボットの普及啓発の推進を図った。

活動報告では、施設において介護口ボットを
導入し、利用者の残存機能を活かして自立支援
につなげる取り組みを行つ先進施設による報告
があつた。参加した介護事業所の職員は、今後
介護口ボットの導入を進める上で参考になつ
たようであつた。

展示・体験会は、事前申込不要で入場可能
為、一般の方の参加もあり、介護口ボットを
知らなかつた来場者も、実際に見て体験する
とにより、とても関心を持ってもらえたようであ
つた。

介護口ボット導入の検討をしている方には、
各支援介護口ボットに対して数種類の口ボット
の展示を行つたことにより、比較対象の参考にな
つたようであった。また、介護口ボットの開

発に新たに参入した企業も展示参加したことによ
り、幅広く関心を持つていただけ、知名度が
上がったようであった。
ただ、結果として来場者が十分でなかった為、
今後はもっと広報に力をいれる必要があると感
じている。

開催日程(7日間)
50時間受講必須
(前期) 5月17日(金)～20日(月)
(後期) 6月7日(金)～9日(日)

募集人数 35名 (先着順)
会場 茨城県総合福祉会館
(水戸市千波町)

受講料 47,000円
募集期間 4月1日から
4月19日まで

お電話でのお問い合わせ、または
「茨城県福祉サービス振興会のホームページ」
をご覧ください。

お申し込みは、ファックス、郵送に
て受付いたします。

問い合わせ先

(一社) 茨城県福祉サービス振興会
担当者まで

電話 029(244)44255
FAX 029(244)44633
<http://ibaraki-shinkoukai.jp>

福祉用具展示ホールのご案内

** 茨城県内唯一で最大の 福祉機器展示ホール **

展示ホールでは、福祉用具専門相談員が常駐し、相談（電話相談も）をお受けしております。

● 一階特設コーナー展示中

月毎にテーマを決めて、最新の福祉用具を展示。
3、4月は会員月間となり、当会会員のPRパネルを展示中。



● 常設展示

常設展示一覧

福祉機器展示ホール

介護用ベッド関連用具
介護用ベッド、床ずれ防止用具、車いす用クッション



問い合わせ先
029(244)4425
(一社)茨城県福祉サービス振興会 展示・相談担当まで

入浴関連用具
シャワー用車いす、入浴用いす、入浴台、浴槽手すり
生活自助具
食事用自助具

移動・移乗関連用具

車いす、歩行器、歩行車、つえ、リフト、スライディングシート、トランスクニアーボード、移乗サポートロボット

モデルルーム

階段昇降機・浴室・洗面

トイレ関連用具

トイレ関連用具、ポータブルトイレ

手すり

おむつ用品

衣類・くつ

介護用品

コミュニケーション関連用具

徘徊感知器・離床センサー

介護ロボット

その他

二階展示フロアへ、随時相談・電話相談・案内を行っております。
福祉用具の使い方、選び方
介護保険が利用できる福祉用具、住宅改修
関係行政機関、団体への案内、販売店の紹介

食事用自助具展示

オールステンレスハンドル (①・②)

状態に合わせて、首の部分を自由に曲げることができます。握力の弱い方でも握りやすく持ちやすくなるためのスポンジがついてさらに使いやすく、スポンジも形状が様々なので、自分に合ったものを選ぶことができます。

スプーン箸 (玉付縁) (③)

スプーンとお箸がひとつになった便利品です。「刺す」「のせる」「すくう」「引っ掛ける」「柔らかい物を切る」「つまむ」を一本でこなすことができます。

ラックン箸 (④)

さまざま握り方で使えるユニークなバーサルデザイン箸。ステンレスをシリコンゴムでコーティングした優しく使えるシリコン箸です。様々な持ち方に対応できるハンドルが特徴



かるまげハンドル 35 (⑤)

状態に合わせて首の部分を自由に曲げることができます。
施し、食材をつかみやすく設計しています。

曲げたとき握ったときに滑ることなく使用できます。



入浴関連用具展示

折りたたみシャワーベンチS/FU

これまでより「薄く」たためるシャワーベンチ！

折りたたみ幅が業界最薄15cmとコ



ンパクトになるので、浴室を広く使いたい方におススメです。洗い場や脱衣所のすき間にもピッタリ収納できます。

介護保険特定福祉用具購入対象品
定価 27,000円。

排泄ケア用介護リフト 試乗体験実施中!

スカイリフト
(展示・試乗共に3月末で終了)

今話題のスタンディングリフト。
ご自宅で家族を介護する際のおむつ交換他、移乗介助・入浴介助のお悩みも軽減されます。

介護保険レンタル対象品
月2,000円程度

この機会に、ぜひお試しください!



車椅子展示
試乗体験実施中
もっと軽く、もっとコンパクト、

折りたたむ寸法が最小、
す携带バッテリにも入る
新しい車椅子です。



コミュニケーションロボット関連用具展示

おはなししようね！ ネルル・ユメル

「おはよう」から「おやすみ」まで、
あなたの傍で豊かな言葉と可愛らし
い表情で癒してくれます！

一緒に歌を歌ったり、季節や時間
に合わせてたくさんお話しします。

起きる時間と寝る時間を設定すれば、就寝をともにし、目が開閉しま
す。表情も豊かなネルルとユメルは
一緒に生
活する人
も抜群で
抱き心地
もつと軽く、もつとコンパクト、



社会福祉法人 横山会

会・員・事・業・所・訪・問

権山会経営理念
住所：茨城県鉾田市権山500-1
TEL：0291-37-2155
FAX：0291-37-0199
代表者：坪 正紀
設立：昭和63年8月
ホームページ：
<http://www.momiyama-kai.org/>
Eメール：
mominok@beige.ocn.ne.jp

○特別養護老人ホーム 横の木荘
(鉾田市・定員50名)
○権山デイサービスセンター
(鉾田市・定員25名)
○介護老人保健施設「ミニユーティケア
センターア権山
(鉾田市・定員85名、デイケア30名)
○多機能型事業所 もみやまりハビリ
テーションセンター
(鉾田市・定員20名)

○グループホーム 和みの家
(鉾田市・定員18名)
○カフェ型デイサービス デイサロン
千波山 (水戸市千波町・定員10名)

共生・権山会は、利用者に寄り添い、生
きる喜びを共に感じながら、あた
たかいサー・ビスの提供に努めます。
その方らしい生活を共に過ごし支
えます
共創・権山会は、地域と共によりよい地
域福祉の創造に貢献します。

住み慣れた地域で安心して過ごせます。
純農村地域である当地区の要介護者を取り巻く環境改善に向けて、地域のケアセンターとしての役割を果たすべく開設されました。ご利用者の自立・主体性を尊重し、個々の心身の状態に応じた、きめ細やかな日常生活のプログラムを作成。満足いただけるよう、希望に満ちたサービスを提供し、家庭への復帰を支援します。



「特別養護老人ホーム 櫻俱楽部」 外観夜景

【関連施設】
○特別養護老人ホーム 櫻俱楽部
(水戸市酒門町・入居70名、短期入所生
活介護10名)

新たな外国人材の受入に関する在留資格「特定技能」について

平成31年4月 「介護業、宿泊業、外食業」 の3業種の技能試験を実施予定

平成31年4月から新たな在留資格「特定技能」が新設されます。これまで、外国人が働くことのできない「介護業界」等でも、外国人が働くことのできることになります。これまでの技能実習では、日本の優れた技術を身につけてもらい、母国に戻りその技術を産業発展に活かしてもらうことが目的でしたが、特定技能では深刻な人手不足に対応するため、一定の専門性・技能を有し即戦力となる外国人材を受け入れることを目的としています。

特定技能は1号と2号の2種類となり、1号の対象は「介護」を含む14業種、2号の対象は1号対象の内2業種（①建設業②造船・船用工業）となります。「介護」については、5年間で6万人の受入れを見込み、主な業務として入浴や食事の介助とし、訪問介護は含まないとしています。

特定技能1号は通算5年の在留期間を上限として、家族の帯同は基本的に認めていませんが、特定技能2号は回数の制限なく更新が可能で定年まで働くことがであります。家族の帯同も認めています。技能実習5年、特定技能1号で5年、合計10年日本に在留することが可能になります。

特定技能1号の技能水準は、受け入れ分野で即戦力として活躍するために必要な知識又は経験を有し、ある程度日常生活に支障がない程度の能力を有し試験に合格することとしています。特定技能1号の外国人に対し「受け入れ

機関」（特定技能外国人を直接雇用する企業）と「登録支援機関」（受入れ機関は特定技能1号の外国人に対し、日常生活上、職業生活上または社会生活上の支援をしなければなりませんが、企業によっては支援が難しい場合もあり、登録支援機構へ特定技能1号外国人に対する支援の全部または一部の実施を契約により委託することができます）が日本での活動を安定期的・円滑におこなうことのできるようになります。

特定技能では、外国人労働者と受入企業の間で雇用契約が成立すれば最低限の条件が整います。企業では日常生活上の様々な支援をしなければなりませんが、難しい場合には登録支援機構という組織を任意で使うことができます。

受入れ機関の基準として、①報酬額が日本人と同等以上であることなどを確保するため、所要の基準に適合することが必要。②適格性に関する基準。・労働関係法令、社会保険関係の法令の遵守。欠格事項に該当しないこと等。③支援体制に関する基準。・支援計画に基づき、適正な支援を行なえる能力・体制があること等。

平成31年4月には「介護業、宿泊業、外食業」の3業種の技能試験（技能水準）と「日本語能力水準」が実施される予定になっています。

特別養護老人ホームサン豊浦

県北地域の茨城県介護職員
腰痛予防モデル施設として指定

平成31年2月13日に茨城県介護職員腰痛予防モデル施設として、特別養護老人ホームサン豊浦を指定した。

腰痛予防モデル施設は、「茨城県介護職員腰痛予防対策推進事業」として、組織的な腰痛予防対策の取り組み、利用者の能力を積極的に活用する介助方法、利用者に応じた福祉用具の活用についてマニュアルを整備して腰痛予防対策を実践している施設であり、腰痛予防を推進しようとする他の施設職員を研修生として受け入れることにより総合的な腰痛予防対策を一層推進することとしている。

すでに茨城県介護職員腰痛予防モデル施設の指定を受け、総合的な腰痛予防対策に組織的に取り組んでいる、社会福祉法人浩喜会「うみべの家」（県央地区）、青嵐荘特別養護老人ホーム（県西地区）と特別養護老人ホームこぼく（県南地区）の3施設と、新たに社会福祉法人日立高寿園特別養護老人ホームサン豊浦（県北地区）を指定し4施設となる。

今後、県内の介護施設から研修生を受け入れて、総合的な腰痛予防対策の推進を図ることや、介護専攻学生を受け入れ腰痛予防に特化した実習にも取り組んでください。

- 1 調査地域の範囲
茨城県内全域（当面は水戸市及びその周辺市町）
- * 水戸市及びその周辺市町以外の市町村に住民登録されているが、水戸市及びその周辺市町にお住まい、お暮しの方の認定調査も受託します。
- 2 調査の対象者（在宅、施設）
新たに要介護の認定を受ける方及び更新をされる方
- 3 調査費用
調査1件当たり 6000円（税別）
その他
- 4 詳細内容等の問い合わせは、下記に記連絡ください。
Shinkoukai.jpをご覧ください。

連絡先
(一社) 茨城県福祉サービス振興会
電話 029(241)6939
FAX 029(241)6799
〒310-10851
水戸市千波町1918番地
茨城県総合福祉会館内

要介護認定調査業務を受託します

弊会（一社）茨城県福祉サービス振興会は、茨城県から要介護認定調査に係る「指定市町村事務受託法人」の指定を、平成29年1月13日付け長福指令第230号をもって、受けておりますので、ぜひ、ご活用下さい。

要介護認定調査業務を下記により受託します。
記



リフトによる移乗 研修風景



左:サン豊浦 鈴木理事長
右:振興会 上野副会長

編集後記

水戸の偕楽園、梅が見ごろです。梅は「花よし」と三拍子揃った花木。ちよつと足を止め、好文木（コウブンボク梅の異名）に思いを馳せてみては。

努める。

いく。

同時に、当会と

しても介護施設の腰痛予防の更なる取り組みの推進に努めます。